

## 実務実習指導・管理システム

### ご利用における留意点について

#### 『薬学実務実習に関する説明会』

2026年 1月 10日 (土)

実務実習委員会 委員長  
石川 和宏



#### 学生プロフィール：実習情報

▼ 実習情報

実習日誌 一週間振り返り 到達度評価 メール・伝言 学生プロフィール 実務実習実施計画書 実習終了時の評価 データ出力

学生情報 実習情報 自己紹介 薬局実習自己目標 病院実習自己目標 指導薬剤師・大学教員からのコメント

薬局実習

実習期間	実習先施設	実習先施設連絡先
実習先住所		担当薬剤師名

病院実習

実習期間	実習先施設	実習先施設連絡先
実習先住所		担当薬剤師名

保存 クリア

#### 学生プロフィール：学生情報

実習日誌 一週間振り返り 到達度評価 メール・伝言 学生プロフィール 実務実習実施計画書 実習終了時の評価 データ出力

学生情報 実習情報 自己紹介 薬局実習自己目標 病院実習自己目標 指導薬剤師・大学教員からのコメント

実習生氏名 必須

性別  男  女

生年月日 必須

現住所

現住所ふりがな

携帯番号

実習生連絡先 必須

実習生ID 所属大学 北陸大学 学籍番号

担当教員

実習中連絡先郵便番号

実習中連絡先ふりがな

実習中連絡先その他連絡先等

緊急時連絡先氏名 緊急時連絡先本人との関係

緊急時連絡先TEL 緊急時連絡先その他の連絡先

備考

顔写真

更新 取消

#### 学生プロフィール：自己紹介

学生情報 実習情報 自己紹介 薬局実習自己目標 病院実習自己目標 指導薬剤師・大学教員からのコメント

自己紹介

4年次までの学習 (好きな分野)

4年次までの学習 (所属研究室)

4年次までの学習 (総合薬学研究)

将来の希望

目指す薬剤師像

受入実習生の  
入力内容につ  
いてご確認下  
さい。

保存 クリア

## 学生プロフィール：薬局実習自己目標

学生情報 実習情報 自己紹介 薬局実習自己目標 病院実習自己目標 指導薬剤師・大学教員からのコメント

○○調剤薬局

実習に対する気持ち			
実習における個人目標			
個人目標達成度	実習個人目標達成度 (4週目終了時)	実習個人目標達成度 (8週目終了時)	実習個人目標達成度 (実習終了時)
*実習終了時に記入。薬局実習で成長したこと・今後の課題			
実務実習の自己評価			

**受入実習生の  
入力内容につ  
いてご確認下  
さい。**

保存 クリア

## 学生プロフィール：病院実習自己目標

学生情報 実習情報 自己紹介 薬局実習自己目標 病院実習自己目標 指導薬剤師・大学教員からのコメント

○○病院

実習に対する気持ち			
実習における個人目標			
個人目標達成度	実習個人目標達成度 (4週目終了時)	実習個人目標達成度 (8週目終了時)	実習個人目標達成度 (実習終了時)
*実習終了時に記入。薬局実習で成長したこと・今後の課題			
実務実習の自己評価			

**受入実習生の  
入力内容につ  
いてご確認下  
さい。**

保存 クリア

## 実務実習実施計画書

実習管理者 (北陸大学) 前回ログイン日時: 2019/12/03 13:28:54 ログアウト パスワード変更

トップへ戻る

▼実習情報

実習日誌 一週間振り返り 到達度評価 メール・伝言 学生プロフィール 実務実習実施計画書 実習終了時の評価 データ出力

▼(1)実習生に関する情報

▼(2)大学での実習状況

▼(3)実習の概要

▼(4)薬局と病院でのモデル・コアカリキュラムに準拠した実習内容の分担(案)について

▼(5)大学、実習施設間での連絡事項とその伝達(情報共有)方法

▼(6)実習生評価方法

▼(7)大学、実習生から実習施設への要望

▼(8)実習情報(実習施設から提供された情報)

▼(9)その他

▼薬局 実習スケジュール

▼病院 実習スケジュール

ファイル添付 ファイル有り

## 実務実習実施計画書：(2)大学での実習状況

トップへ戻る

▼実習情報

実習日誌 一週間振り返り 到達度評価 メール・伝言 学生プロフィール 実務実習実施計画書 実習終了時の評価 データ出力

▼(1)実習生に関する情報

▼(2)大学での実習状況

【大学での教育内容（特に臨床準備教育）の概略】

①実務実習事前学習（実務事前学習） シラバス\*  
②実務実習事前学習（実務事前学習） 概略評価表\*

\*詳細については、添付ファイルをご参照ください。

大学での学習に気づいた実習に当たり特に伝達が必要な特記事項

③実務実習事前学習（実務事前学習）ポートフォリオ\*\*

\*\*学内の臨床準備教育である実務事前学習で取り組んだ課題やリフレクションシート等の学習過程で使用したものあるいは残したものすべてファイルに入れて保存したポートフォリオを実習生が持参します。指導時に必要に応じてご参考ください。

▼(3)実習の概要

## 実務実習事前学習ポートフォリオ



## 実務実習実施計画書：(6)実習生評価方法

▼実習情報

実習日誌 一週間振り返り 到達度評価 メール・伝言 学生プロフィール 実務実習実施計画書 実習終了時の評価 データ出力

▼(1)実習生に関する情報

▼(2)大学での実習状況

▼(3)実習の概要

▼(4)薬局と病院でのモデル・コアカリキュラムに準拠した実習内容の分担（案）について

▼(5)大学、実習施設間での連絡事項とその伝達(情報共有)方法

▼(6)実習生評価方法

総合評価：… 事前訪問時に担当教員が持参  
指導薬剤師 40% (概略評価 30%、実習終了時の評価 (全般的評価) 10%)、施設担当教員 30%、提出物 20%、研究室主宰教員 10%  
\*概略評価は2~3週毎に実習生と確認  
\*短期間に実施する項目もその間に複数回評価する  
\*詳細については、添付ファイルをご参照ください。

ファイル添付：ファイル有り

## 実務実習実施計画書：(3)実習の概要

▼(1)実習生に関する情報

▼(2)大学での実習状況

▼(3)実習の概要

(1)薬局実務実習 施設情報

施設名	責任薬剤師名	指導薬剤師名 (認定番号)	連絡先
			電話番号 メールアドレス

(2)病院実務実習 施設情報

施設名	責任薬剤師名	指導薬剤師名 (認定番号)	連絡先
			電話番号 メールアドレス

▼(4)薬局と病院でのモデル・コアカリキュラムに準拠した実習内容の分担(案)について

▼(5)大学、実習施設間での連絡事項とその伝達(情報共有)方法

## (8)実習情報 (実習施設から提供された情報)

### 《薬局》

【代表的な疾患の体験予定】体験 (○多い) > ○ > △(少ない)

代表的8疾患体験 (○多い) > ○ > △(少ない)

○ (多い) : 同一患者あるいは同一の患者でなくとも継続的に体験が可能な疾患  
△ (少ない) 1回程度しか体験できないと思われる疾患  
○ : 継続的な体験は難しいが、複数回体験できると思われる疾患  
<○、○、△で以下に記入>  
がん:△ 高血圧症:○ 糖尿病:○ 心疾患:○ 脳血管障害:○  
免疫・アレルギー疾患:○ 精神神経疾患:○～△ 感染症:○

### 《病院》

【代表的な疾患の体験予定】体験 (○多い) > ○ > △(少ない)

代表的8疾患体験 (○多い) > ○ > △(少ない)

○ (多い) : 同一患者あるいは同一の患者でなくとも継続的に体験が可能な疾患  
△ (少ない) 1回程度しか体験できないと思われる疾患  
○ : 継続的な体験は難しいが、複数回体験できると思われる疾患  
<○、○、△で以下に記入>  
がん:○ 高血圧症:○ 糖尿病:○ 心疾患:○ 脳血管障害:○  
免疫・アレルギー疾患:○ 精神神経疾患:△ 感染症:○

## 実習日誌①

実習日誌 | 一週間振り返り | 到達度評価 | メール・伝言 | 学生プロフィール | 実務実習実施計画書 | 実習終了時の評価 | データ出力

OO病院

未登録 実習生登録済 指導薬剤師登録済

05/27(月) 05/28(火) 05/29(水) 05/30(木) 05/31(金) 06/01(土) 06/02(日) 振り返り カレンダー

出欠状況  
出席 ○欠席 ○遅刻 ○早退  
○病気 ○怪我 ○忌引 ○公共交通機関の遅れ・故障 ○その他の理由

具体的な実習内容  
体験した疾患・活動実習にて達成できた点

《入力内容についてご確認下さい》

1日のスケジュール

8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00

場所

- 病院
- 患者宅
- カセントー
- その他の中
- その他の中

## 一週間振り返り①

実習日誌 | 一週間振り返り | 到達度評価 | メール・伝言 | 学生プロフィール | 実務実習実施計画書 | 実習終了時の評価 | データ出力

OO病院

未登録 実習生登録済 指導薬剤師登録済

3w 4w 5w 6w 7w 8w 9w 10w 11w 1w 2w 実習全体の振り返り カレンダー

20XX/07 第3週 週報

実習したこと  
(項目ごとに関わった日数等も記載)

- 1.5F (薬剤部外科) (7/8)
  - 服薬指導
  - 服薬管理指導マニアル
- 2.北4F (内閣閣内局) (7/8.9.1)
  - CAG見学
  - 宿題、胃腸疾患復習
  - 結果発表
  - 検査目的で入院された患者さんへの服薬指導の留意点
  - カルテ閲覧
- 3.4F (泌尿器科) (7/9)
  - 服薬指導
  - カルテ閲覧
- 4.3F(消化器科) (7/10.11)
  - カルテ閲覧
  - 服薬指導
  - ガイドラインの差異について他職種への情報提供
  - メモ帳での問い合わせセミナー
  - 薬学管理マリーニについて
- 5.糖尿病教室(7/10)
  - 糖尿病教室開催

《入力内容についてご確認下さい》

関わった疾患とその人数  
(処方解説・投薬計画などを実施した疾患等)

がん	高血圧症	糖尿病	心疾患	脳血管障害	精神神経疾患	免疫・アレルギー疾患	感染症	その他
9人	7人	9人	8人	3人	3人	1人	6人	7人

服薬指導を実施した疾患とその人数

がん	高血圧症	糖尿病	心疾患	脳血管障害	精神神経疾患	免疫・アレルギー疾患	感染症	その他
1人	4人	2人	1人	0人	0人	1人	2人	2人

## 実習日誌②

実務実習記録による評価項目  
本日の実習で経験した状況を選択してください(実施局のみ)

チーム医療への参画  
【○在籍機関におけるチーム医療】  
【地域におけるチーム医療】

地域の保健・医療・福祉への参画  
【災害時医療と薬剤師】

独自評価  
★★★  
実習にて達成できなかった点  
次回への反省・改善点

《入力内容についてご確認下さい》

添付資料

指導薬剤師のコメント

レ確認

《上記の入力内容を確認した後、コメントを入力して橙色の『レ確認』表示部分をクリックして緑色の『レ確認済』表示に変更して下さい。》

## 一週間振り返り②

理解できたこと

理解できなかったこと

実践できたこと

実践できなかったこと

《入力内容についてご確認下さい》

理解できなかったこと

実践できなかったこと

★★★  
今週出来なかつたことに対する改善策

## 一週間振り返り③

施設・大学に伝えたいこと  
(指導薬剤師・担当教員を含む)

**指導薬剤師のコメント**

**レ確認済**

《上記の入力内容を確認した後、コメントを入力してオレンジ色の『レ確認』表示部分をクリックして緑色の『レ確認済』表示に変更して下さい。》

**大学教員のコメント**

**レ確認**

《入力内容についてご確認下さい》

## 到達度評価



評価が「第1段階」となった場合には、速やかに次の段階に到達できるようご指導下さい。

**概略評価項目**

	実習生	指導薬剤師
(1)薬学臨床の基礎	3	4
【2】臨床における心構え】(A (1)、(2) 参照)	3	3
(2)処方せんに基づく調剤	3	3
【2】処方せんと錠剤開封】	3	3
【4】患者・来局者応対、服薬指導、患者教育】	3	3
【5】医薬品の供給と管理】	3	3
【6】安全管理】-1	3	3
【6】安全管理】-2	3	3
(3)薬物療法の実践	3	4
【1】患者情報の把握】	3	3
【2】医薬品情報を収集と活用】(E 3 (1) 参照)	3	3
【3】処方設計と薬物療法の実践（処方設計と提案）】	3	3
【4】処方設計と薬物療法の実践（薬物療法における効果と副作用の評価）】	3	3
(4)チーム医療への参画	08月11日	07月19日
【1】医療機関におけるチーム医療】	08月11日	07月19日
【2】地域におけるチーム医療】	08月11日	07月19日
(5)地域の保健・医療・福祉への参画	08月11日	07月19日
【3】災害時医療と薬剤師】	08月11日	07月19日

## 到達度評価：全選択

■【④患者・来局者応対、服薬指導、患者教育】

チェックポイントSBOS

○患者・来局者に合わせて適切な対応ができる。(態度)

○患者・来局者から、必要な情報(症状、心理状態、既往歴、生活習慣、アレルギー歴、薬歴、副作用歴等)を適切な手順で聞き取ることができる。(知識・態度)

○医療の治療方針を理解した上で、患者への適切な服薬指導を実施する。(知識・態度)

○患者・来局者の状態や背景に配慮し、医薬品を安全かつ有効に使用するための服薬指導や患者教育ができる。(知識・態度)

○妊娠・授乳婦、小児、高齢者等特別な配慮が必要な患者への服薬指導において、適切な応対ができる。(知識・態度)

○お薬手帳、健康手帳、患者向け説明書を使用した服薬指導ができる。(態度)

○収集した患者情報を薬歴や診療録に適切に記録することができる。(知識・技能)

○実習生 ●指導薬剤師

観点	アウトカム	第4段階	第3段階	第2段階	第1段階
患者・来局者応対、情報提供・教育	患者からの情報収集、患者への情報提供及び患者教育を実践する。	患者の問題点を見出し、解決するための服薬指導や教育を行う。	患者の理解度や状態を含めた情報を収集・評価し、適切な服薬指導を行う。指導記録を作成する。	患者から薬物治療に係る基本的な情報(症状、既往歴、アレルギー歴、薬歴、副作用歴、生活状況等)を正確に把握し、患者の問題点を把握する。処方された医薬品について用法・用量・薬理作用・副作用・使用上の注意事項などの基本的な情報を提供する。	患者から薬物治療に係る基本的な情報(症状、既往歴、アレルギー歴、薬歴、副作用歴、生活状況等)を把握する。処方された医薬品について用法・用量・薬理作用・副作用・使用上の注意事項などの基本的な情報を提供する。
9月28日				○	
10月27日				○	
11月10日			○		
10月02日				●	
10月15日					●
10月25日					
11月06日			●		

## 到達度評価：ループリック評価の運用方法

### 《形成的評価及び実習終了時の評価に用いる》

#### 【形成的評価】

- 2~3週間毎を目安に定期的に実施する。
- 学生による自己評価と薬剤師による指導者評価を実施し、評価後、薬剤師は学生にフィードバックを行う。  
→ 実習終了時にすべての領域で第3段階が目標 !!

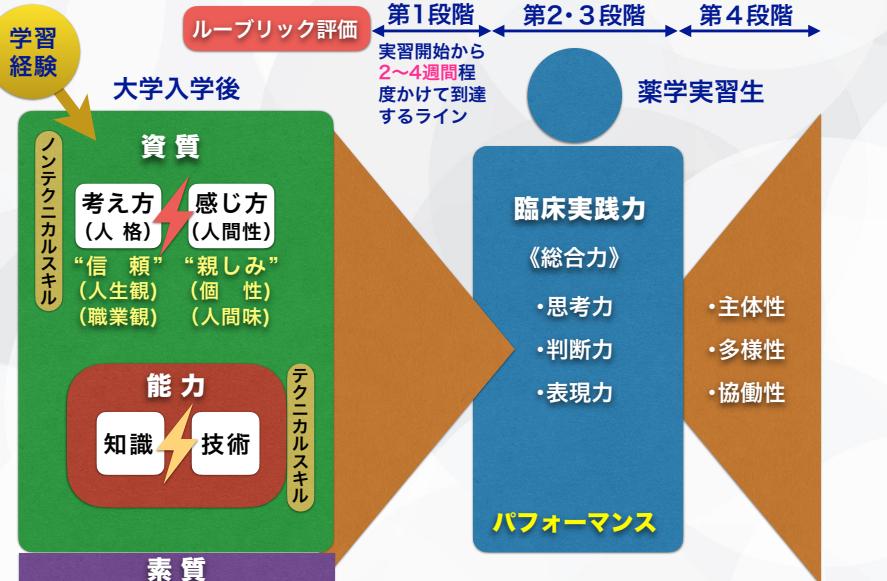
#### 【実習終了時の評価】

- 実習終了時の評価をもって、施設側の評価は終了となる。

※学生のパフォーマンスを評価するためには、パフォーマンスを示す場面が必要である。



## 臨床実践力：薬学実習生

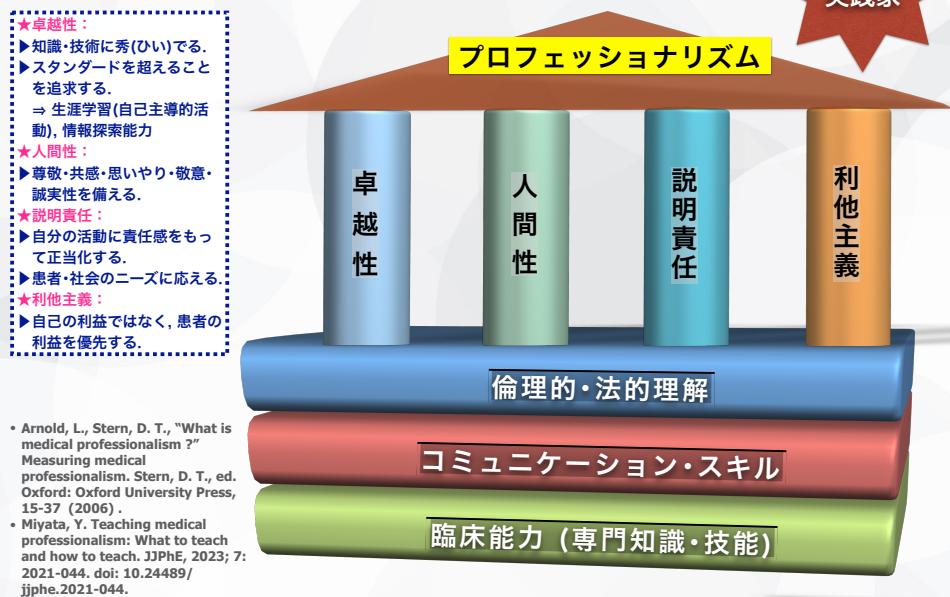


## 参考資料

- 1) 渡辺孝雄：実践企業人材論，Vol. 3『人間の形成と富の形成』“人格と人間性の違い”，<http://www.rapport.ne.jp/mailmagazine/140701.htm>, accessed 6 Jan, 2020.
- 2) 文部科学省中央教育審議会初等中等教育分科会「教育課程部会（第97回）配布資料」
- 3) 斎藤孝：子どもに伝えたい《三つの力》生きる力を鍛える，NHKブックス[928]，2002年9月25日発行。
- 4) 前野哲博，守屋文貴：「ノンテクニカルスキル」で今より強いチームをつくる，看護管理，Vol 25, pp. 318-320, 2015.
- 5) 相馬孝博：患者安全のためのノンテクニカルスキル超入門，メディカ出版，2014年3月20日発行。
- 6) 佐藤和弘：問題解決を導く決め台詞 ノンテクニカルスキル会話編，日総研出版，2019年11月5日発行。

#『前頁の図』については、上記の資料を参考に現行の薬学臨床教育に準じて独自に作成したのもである。

## 医療プロフェッショナリズムの概念



## 医療に関する「意志決定支援」について

### ● 医療法第1条の4第2項

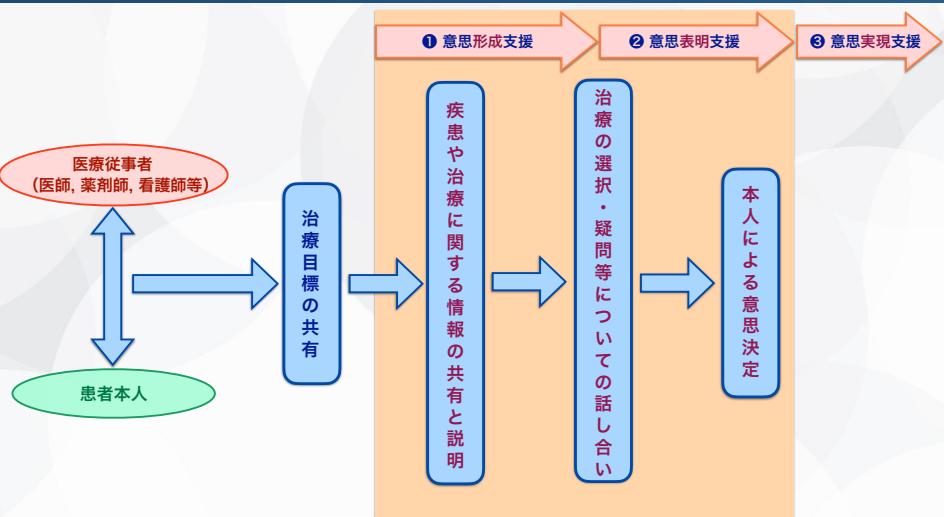
「医師、歯科医師、薬剤師、看護師その他の医療の担い手は、医療を提供するに当たり、適切な説明を行い、医療を受ける者の理解を得るよう努めなければならない。」

→ 医療に関する「意志決定支援」は、治療方法に関する患者・家族等への説明や話し合いを通じ、医療従事者が実施すべきものと考えられる。

→ 薬剤師をはじめとする医療従事者には、良好なコミュニケーションを通して相手の意志決定を支援できる能力(医療コミュニケーション能力)が求められる。

→ このような新たな支援の仕組みには、患者の孤独感や不安感の軽減、自尊心や自己肯定感の回復を図るものとして位置づける必要性がある(ポジティブ思考の習慣化)。

## 医療に関する「意思決定支援」のプロセス



### 【プロセスの内訳】

- ① 意思形成支援：本人に必要な情報を説明する、本人が何を望むかを聞く 等
- ② 意思表明支援：本人と時間をかけてコミュニケーションをとることが重要 等
- ③ 意思実現支援：本人の意思を利用可能な社会資源等を用いて反映させる 等

厚生労働省 社会保障審議会生涯者部会 第128回  
(2022年4月25日) 資料8, p. 3より改変引用。

## 実習終了時：指導薬剤師の役割

The interface includes tabs for "実習日誌" (Internship Log), "一週間振り返り" (Weekly Review), "到達度評価" (Achievement Evaluation), "メール・伝言" (Email/Message), "学生プロフィール" (Student Profile), "実務実習実施計画書" (Practical Internship Implementation Plan), "実習終了時の評価" (Evaluation at the end of the internship), and "データ出力" (Data Output).

Key features shown include:

- A header bar with buttons for "未登録" (Not registered), "実習生登録済" (Internship student registered), and "登録済" (Registered).
- A calendar view for May 27 to June 2, with a red box highlighting the "カレンダー" (Calendar) button.
- A section for "出席状況" (Attendance status) with checkboxes for "出席" (Attendance), "欠席" (Absence), "遅刻" (Late), and "早退" (Early departure), along with a "理由" (Reason) input field.
- A "具体的な実習内容" (Specific practical training content) section with a text area for "体験した疾患・活動実習にて達成できた点" (Achievements in experienced diseases and practical training).
- A "1日のスケジュール" (Daily schedule) table from 8:00 to 17:00.
- A "場所" (Location) dropdown menu listing "病院", "患者宅", "ケアセンター", "その他の場所", and "その他" (Other).

## 実習日誌：カレンダー

The interface includes tabs for "実習日誌" (Internship Log), "一週間振り返り" (Weekly Review), "到達度評価" (Achievement Evaluation), "メール・伝言" (Email/Message), "学生プロフィール" (Student Profile), "実務実習実施計画書" (Practical Internship Implementation Plan), "実習終了時の評価" (Evaluation at the end of the internship), and "データ出力" (Data Output).

Key features shown include:

- A header bar with buttons for "未登録" (Not registered), "実習生登録済" (Internship student registered), and "登録済" (Registered).
- A "薬局実習" (Pharmacy实习) and "病院実習" (Hospital实习) tab.
- A "実習したこと" (Things learned) section with a table for "1W" (Week 1) through "5W" (Week 5), listing various medical terms and concepts learned.
- A "実習全体の振り返り" (Overall review) button at the bottom.

## 実習日誌：カレンダー： 実習全体の振り返り①

The interface includes tabs for "実習日誌" (Internship Log), "一週間振り返り" (Weekly Review), "到達度評価" (Achievement Evaluation), "メール・伝言" (Email/Message), "学生プロフィール" (Student Profile), "実務実習実施計画書" (Practical Internship Implementation Plan), "実習終了時の評価" (Evaluation at the end of the internship), and "データ出力" (Data Output).

Key features shown include:

- A header bar with buttons for "未登録" (Not registered), "実習生登録済" (Internship student registered), and "登録済" (Registered).
- A "薬局実習" (Pharmacy实习) and "病院実習" (Hospital实习) tab.
- A "実習したこと" (Things learned) section with a table for "1W" (Week 1) through "5W" (Week 5), listing various medical terms and concepts learned.
- A "開わった疾患とその人数" (Number of patients seen) table for "がん" (Cancer), "高血圧症" (Hypertension), "糖尿病" (Diabetes), "心疾患" (Cardiovascular diseases), "脳血管障害" (Stroke), "精神神経疾患" (Psychiatric and neurological diseases), "免疫・アレルギー疾患" (Immunological and allergic diseases), and "感染症" (Infectious diseases).
- A "服薬指導を実施した疾患とその人數" (Number of patients whose medication was guided) table for the same categories.
- A "理解できしたこと" (Things understood) section with a table for "1W" (Week 1) through "3W" (Week 3), listing various medical concepts learned.

実習終了時：指導  
薬剤師の役割

## 実習日誌：カレンダー： 実習全体の振り返り②

実践できなかったこと

- 1W
  - ・データ収集の際に信頼性の低いデータを参考にした。
- 2W
  - ・院内製剤の調剤で誤算する注射用液の量を間違えてしまった。
- 3W
  - ・小児のお母さんに服薬指導させていただいた際に、うまく薬が飲めない子に薬を飲みやすくできるうまいアドバイスができなかった。
- 4W

今回できなかっことに対する改善策

- 1W
  - ・データ収集の際は、1次資料、2次資料の参考に調査する。
- 2W
  - ・地域連携について勉強。
  - ・抗凝露について勉強。
  - ・水剤の全量確認を調剤前にしっかりと行う。
- 3W
  - ・高齢者(お年寄り)のアドバイス。

施設・大学に伝えたいこと  
(指導薬剤師・担当教員を含む)

指導薬剤師のコメント

《上記の入力内容を確認した後、コメントを入力して**オレンジ色の『レ確認』**表示部分をクリックして**緑色の『レ確認済』**表示に変更して下さい。》

大学教員のコメント

レ確認

《入力内容についてご確認下さい》

実習終了時：指導  
薬剤師の役割

## 実務実習実施計画書： (8)実習情報

実習日誌 一週間振り返り 到達度評価 メール・伝言 学生プロフィール 実務実習実施計画書 実習終了時の評価 データ出力

▼(1)実習生に関する情報

▼(2)大学での実習状況

▼(3)実習の概要

▼(4)薬局と病院でのモデル・コアカリキュラムに準拠した実習内容の分担(案)について

▼(5)大学、実習施設間での連絡事項とその伝達(情報共有)方法

▼(6)実習生評価方法

▼(7)大学、実習生から実習施設への要望

▼(8)実習情報(実習施設から提供された情報)

[大学教員/指導薬剤師間の連絡事項]

《実習終了後、速やかに入力して下さい：いかなる時期においても学生が閲覧することはできません。》

実習終了時：指導  
薬剤師の役割

## 実習終了時の評価： 実習期間中の実習態度

《実習終了後、速やかに入力して下さい》

実習日誌 一週間振り返り 到達度評価 メール・伝言 学生プロフィール 実務実習実施計画書 実習終了時の評価 データ出力

薬局実習 病院実習

OO病院

### 1.1. 実習期間中の実習態度

最終評価カテゴリ1

- マナー
- 積極性、探究心
- 協調性
- 医療人となるための心構え
- 社会的常識

5	4	3	2	1
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

実習終了時：指導  
薬剤師の役割

## データ出力：詳細レポート：添付

実習日誌 一週間振り返り 到達度評価 メール・伝言 学生プロフィール 実務実習実施計画書 実習終了時の評価 データ出力

絞り込み条件

データ種別 詳細レポート 實習期間 OO病院 (20XX年05月27日～20XX年08月11日) 対象週 全ての週

ダウンロード クリア



『ダウンロードされた文書』



『実務実習実施計画書』内にある『ファイル添付』に添付する。

《実習終了後、速やかに上記の操作を行って下さい》

実習終了時：指導  
薬剤師の役割

詳細レポート

詳細レポート	
大学	北陸大学
学籍番号・氏名	OPOPO ○○ ○○
実習施設	○○病院
実習期間	20XX年05月27日～20XX年08月11日

大項目	中項目	到達度目標(SB0s)	本人評価最終	指導薬剤師評価最終	指導薬剤師評価履歴								
					評価日	06/17	07/01	07/19	08/05				
<b>薬学臨床の基礎</b>													
【(2)臨床における心構え】〔A（1）、（2）参照〕													
S80s891	医療行為のリスクをできるべく把握情報を蓄積して、ふりきい態度で接する。(技術)	3	4	レベル	06/17 評価者 ○○○○	07/01 ○○○○	07/19 ○○○○	08/05 ○○○○					
S80s892	患者・在患者の基本情報を理解し、自己決意権について理解する。(態度)												
S80s893	医療的判断を下す際に、イニシアムド・シンドローム等に留意する。(態度)												
S80s894	職場上取り扱う情報について理解義務を守る。(態度)												
【(2)専門せんに基づく調剤】													
S80s920	専門せんに基づく調剤(医薬品・分量・用法・用量等)が適切である。(技術)	3	3	レベル	06/17 評価者 ○○○○	07/01 ○○○○	07/19 ○○○○	08/05 ○○○○					
S80s921	専門せんに基づく調剤(医薬品・分量・用法・用量等)を理解する。(態度)												
S80s922	専門せんの正しい記載方法を示す。(技術)												
S80s923	専門せん、計算算、余白を状況から方針が決まるか理解できる。(態度)												
S80s924	専門せんに基づく調剤(医薬品の調製)。(技術)												
【(3)専門せんに基づく医薬品の調製】													
S80s933	医薬品の名前・物性・効能から該当する調製法を選択できる。(技術)	3	3	レベル	06/17 評価者 ○○○○	07/01 ○○○○	07/19 ○○○○	08/05 ○○○○					
S80s934	適切な調剤(後発医薬品を選択できる)。(技術)												
S80s935	専門せんに基づいて計量・計算算ができる。(技術)												
S80s936	専門せんの記載内容を理解する。(態度)												
S80s937	「統一化」された記載の既往歴を理解し、記憶できる。(態度)												
S80s938	専門せんに基づいて注釈(薬理)ができる。(技術)												
S80s939	注釈(薬理)・副作用・禁忌症等の記載内容を理解できる。(態度)												
S80s940	注釈(薬理)・副作用・禁忌症等の記載内容を理解できる。(態度)												
S80s941	専門せんに基づいて計算算ができる。(技術)												
S80s942	専門せんに基づいて計算算ができる。(態度)												

実習終了時：指導  
薬剤師の役割

実務実習実施計画書

実習管理者 (北陸大学)		ログアウト パスワード変更
<a href="#">TOPへ戻る</a>	<a href="#">プロフィール</a>	
<b>▼実習情報</b>		
<a href="#">実習日誌</a>	<a href="#">一週間振り返り</a>	<a href="#">到達度評価</a>
<a href="#">メール・伝言</a>	<a href="#">学生プロフィール</a>	<a href="#">実務実習実施計画書</a>
<a href="#">実習終了時の評価</a>	<a href="#">データ出力</a>	
<b>▼(1)実習生に関する情報</b>		
<b>▼(2)大学での実習状況</b>		
<b>▼(3)実習の概要</b>		
<b>▼(4)薬局と病院でのモデル・アカリキュラムに準拠した実習内容の分担(案)について</b>		
<b>▼(5)大学、実習施設間での連絡事項とその伝達(情報共有)方法</b>		
<b>▼(6)実習評価方法</b>		
<b>▼(7)大学、実習生から実習施設への要望</b>		
<b>▼(8)実習情報 (実習施設から提供された情報)</b>		
<b>▼(9)その他</b>		
<b>▼薬局 実習スケジュール</b>		
<b>▼病院 実習スケジュール</b>		
ファイル添付 <input checked="" type="checkbox"/> アイドル有り 《詳細レポートの内容が薬局及び病院の指導薬剤師双方で閲覧が可能となります》		

2026(令和8)年度 実務実習日程

第Ⅰ期		第Ⅱ期		第Ⅲ期		第Ⅳ期							
2/16(月)～5/3(日)		5/18(月)～8/2(日)		8/17(月)～11/1(日)		11/16(月)～2/7(日)							
2026(令和8)年													
2027(令和9)年													
1月	3月	4月	5月	6月	7月	9月	10月						
1 日	水	1 金	1 木	1 土	1 火	1 木	1 金						
2 月	R11 2月	3 木	2 木	2 火	3 水	2 木	2 火						
3 火	3 火	3 金	3 木	3 水	3 木	3 木	3 木						
4 水	4 水	4 土	4 木	4 木	4 火	4 金	4 木						
5 木	5 木	5 日	5 金	5 木	5 火	5 土	5 木						
6 金	6 金	6 月	6 水	6 土	6 木	6 日	6 水						
7 木	7 木	7 火	7 木	7 日	7 火	7 木	7 木						
8 金	8 金	8 水	8 金	8 木	8 土	8 火	8 金						
9 月	9 月	4 木	9 木	9 火	9 木	9 水	9 木						
10 火	10 火	10 金	10 日	10 水	10 木	10 火	10 木						
11 水	11 水	11 土	11 月	11 木	11 火	11 金	11 木						
12 木	12 木	12 日	12 火	12 金	12 土	12 木	12 木						
13 金	13 金	13 月	13 水	13 土	13 火	13 金	13 木						
14 土	14 土	14 火	14 木	14 火	14 木	14 水	14 木						
15 日	15 日	15 水	15 木	15 水	15 土	15 火	15 木						
16 月	1-1 16 月	16 木	16 火	16 木	16 水	16 金	16 木						
17 火	17 火	17 金	17 日	17 水	17 木	17 火	17 木						
18 水	18 水	18 土	18 月	18 木	18 火	18 金	18 木						
19 木	19 木	19 日	19 火	19 金	19 水	19 土	19 木						
20 金	20 金	20 月	20 10	20 水	20 土	20 火	20 金						
21 土	21 土	21 火	21 木	21 金	21 土	21 木	21 木						
22 日	22 日	22 水	22 金	22 土	22 火	22 木	22 木						
23 月	23 月	23 木	23 火	23 木	23 水	23 金	23 木						
24 火	24 火	24 金	24 日	24 水	24 木	24 土	24 水						
25 水	25 水	25 土	25 月	25 木	25 火	25 金	25 木						
26 木	26 木	26 火	26 金	26 土	26 木	26 火	26 金						
27 金	27 金	27 月	11 27	27 木	27 火	27 金	27 木						
28 土	28 土	28 水	28 木	28 日	28 火	28 水	28 木						
29 日	29 日	29 水	29 金	29 月	29 水	29 土	29 金						
30 月	7 30 木	30 土	30 火	30 木	30 土	30 金	30 木						
31 火	31 火	31 日	31 月	31 金	31 木	31 日	31 木						

\* 正月休み1週間(12/28～1/3)

2024年10月22日

新型コロナウイルス感染症対策に関する遵守事項

薬学実習生は、以下の感染症対策について遵守すること。

- 手洗いを徹底する(帰宅後や食事の前後等、こまめに石鹼あるいはアルコール消毒液を着用する)。
  - マスクを着用する。
  - 3密(密集、密着、密閉)を避ける。
    - ★風通しの悪い空間で近い距離で会話をする場所やイベントに行かない。
    - 具体例：ライブハウス、カラオケボックス、ナイトクラブ、立食パーティー、大人気での宴会や飲み会など。
  - 同居者以外の方との会食はない。
  - 寮での生活を含め同居者の会食は対面を避け、可能であれば時間をずらすか自室にて食事を取るようにする。
  - 健康管理を徹底する(1日2回、体温管理表へ記入する)。
    - ★実習開始2週間前から実習期間中とともに実習終了2週間後まで所定の管理表へ記入する。
    - ★本期間ににおける体調の不具合については、程度に関わらず指導薬剤師及び担当教員(実務実習窓口も含む)に速やかにその旨の連絡を入れる。
  - 不要な外出はしない。
  - アルバイトはしない。
  - 実務実習とは関係のない不特定多数の人と接するような行事等への参加はしない。
  10. 県をまたぐ移動はしない。
  11. 他施設の実習生とは接触しない。
- \*：やむを得ない事由がある場合は、実務実習窓口に相談して下さい。  
また、実習生として判断に迷った場合にも是非一度実務実習窓口に相談するようにして下さい。
- 【実務実習窓口】  
076-229-6251  
c-rinsyo-g@hokuriku-u.ac.jp
- 以上、一つでも守られていないことが確認され次第、即刻実習は中止とし、下級学生とあらためて実習することになりますので、くれぐれも注意下さい。

## 体調管理表

《改訂版》



## 2023年5月～2024年4月の死者数 (インフルエンザとの比較)

**新型コロナウイルス感染症**

3万2,576人

2,244人

約15倍

**インフルエンザ**

29歳以下 0.2%

50代 1.2%

60代 3.8%

70代 15.9%

80代 39.8%

90歳以上 38.6%

30~49歳 0.3%

n = 3万2,573人  
(年齢不明の3人除く)

厚生労働省「人口動態統計」より2023年5～12月（確定数）、2024年1～4月（概数、2024年10月30日閲覧）のデータを集計

CareNet

Copyright © 2024 CareNet, Inc. All rights reserved.



ご清聴ありがとうございました

